

# いししツシユ

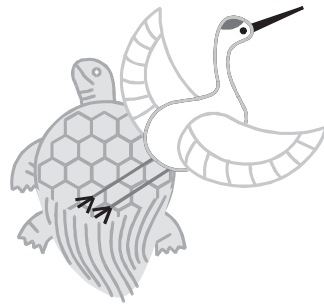
第52号

平成30年10月  
発行：依田窪老人保健施設  
広報編集委員会  
〒386-0603  
小県郡長和町古町 3365-5  
TEL：0268-68-0281  
FAX：0268-68-0283

## 祝

# 敬老会

いつまでもお元気で



9月19日いこい敬老会を行いました。今年には祝い年を迎えられた14名の皆様と、最高齢101歳のご利用者の方に、石橋施設長より慶祝状が贈呈されました。最初は緊張した面持ちのご利用者も、施



慶祝状の贈呈

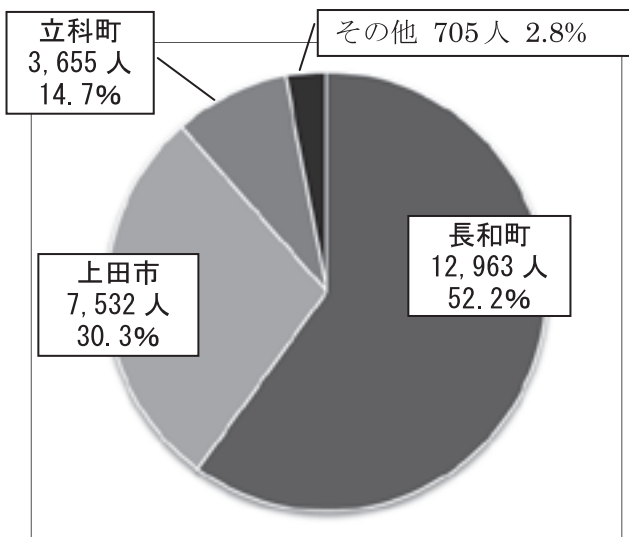
設長からお祝いの言葉がかけられると、照れ笑いをされたり、うれし涙を流しながら「ますます元気で長生きする。」と応えていらつしやいました。

贈呈式後は、上小地域を中心にボランティア活動をされている上田マジッククラブのお二人から、様々なマジックを披露していただきました。目の前で見ていた方も、仕掛けがわからず驚きの声が上がっていました。

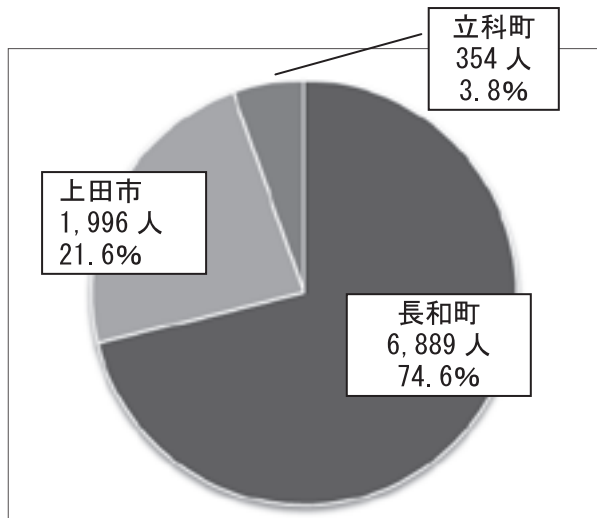
お昼には、お祝い御膳としてお赤飯、おやつには紅白饅頭をご用意し、ささやかながらお祝いをさせていただきました。長年、地域の発展にご尽力いただいた皆様が、いつまでもお元気で楽しい毎日をお過ごしいただけますよう、これからも職員一同心を込めてケアをさせていただきます。

(食事・行事委員 田村里美)

### 市町村別入所者の延べ人数と比率



### 市町村別通所利用者の延べ人数と比率



|         |          |
|---------|----------|
| 歳入総額    | 50,990万円 |
| 歳出総額    | 49,047万円 |
| 差引残額    | 1,943万円  |
| うち基金繰入金 | 1,600万円  |
| 翌年度繰越金  | 343万円    |

#### □ 主な歳入内容

|                           |          |
|---------------------------|----------|
| 施設入所サービス収入                | 20,713万円 |
| 居宅サービス収入<br>(短期入所・通所リハビリ) | 17,040万円 |
| 市町分担金                     | 6,252万円  |

#### □ 主な歳出内容

|                |          |
|----------------|----------|
| 職員給与費          | 31,850万円 |
| 診療・介護・給食等材料費   | 3,461万円  |
| 経費(消耗品費・光熱水費等) | 6,419万円  |
| 保守管理等委託金       | 1,004万円  |
| 起債償還金          | 6,252万円  |

#### ■ 入所・利用者の状況

| 区分                 | 利用実績    | 前年度との差 |
|--------------------|---------|--------|
| 延一般入所者数            | 18,445人 | 473人減  |
| 延短期入所者数            | 6,410人  | 294人増  |
| 延入所者数計             | 24,855人 | 179人減  |
| 入所率                | 97.3%   | 0.7%減  |
| 延通所リハビリ利用者数        | 9,239人  | 295人増  |
| 通所リハビリ<br>1日平均利用者数 | 29.8人   | 0.9人増  |

平成29年度は、通所リハビリ利用者の増により施設運営事業収益は対前年度

### 平成29年度 依田窪老人保健施設特別会計決算

226万円余の増収となりました。施設運営事業費用は、看護師の増等で給与費の支出が増えたことにより、対前年度2千822万円支出増となり、差引残額が前年度より減少しましたが、1千943万円の黒字決算となりました。決算の概要、運営状況は次のとおりです。

“ありがとう”が溢れる場所を目指して

介護福祉士 竹内あゆ海

私は、いこいで働き始めて今年で5年目になります。

以前、面会に訪れたご家族から「手のかかるおばあちゃんでごめんね。どうしてそんなに優しく出来るの？」と問われた事がありました。私はどう答えたら良いのか、とても悩みました。そしてその時の出来事が「家族の介護」と「仕事の介護」の違いを考えるきっかけとなりました。家族には介護が必要となるまでの間、その人と過ごしてきた時間があります。元気だった人が弱っていく姿、出来ない事が増えていく姿を見えています。変わっていく姿を見て不安や悲しみ、怒り、様々な感情が生まれると思います。身内だからこそ「どうしてこんな簡単な事も出来ないの」とイライラしてしまう事も多いのではないのでしょうか。家族の「どうして出来ないの」を「どうしたら出来るんだろう」に変えていくのが、私たち介護職の仕事ではないかと考えています。

そして今、私が大切にしているのは『プラス面を共有する事』です。些細な事でも「こんな事が出来ている・出来るようになった」を伝える事で、それを受け取ったご利用者やご家族は「ごめんね」ではなく、「ありがとう」という言葉を返してくれます。言葉の力は想像以上にパワフルで、私はその言葉にいつも元気をもらっています。私が目指すのは「ありがとう」が溢れる優しくて明るい前向きな介護です。これからも、いこいをご利用する皆様が身体も心も元気に過ごすためのお手伝い出来るよう、日々邁進していきます。



ふ  
れ  
あ  
い

長門小学校2年生交流会

(平成30年7月〜10月までの出来事)

(7月20日)

小学生のかわいらしい発表を見て、ご利用者もたくさん笑顔を見せてくれました。一緒に行った玉入れでは、いつも以上に身体が動き、声を掛け合いながら楽しまれていました。

依田窪南部中学校紫苑祭見学

(9月22日)

ご利用者8名の方と紫苑祭を見学に行ってきました。中学生が作った作品や展示物の見学、歌声を聞き感動されました。

運動会

(10月7日)

55名のご利用者が参加し、応援合戦、大玉送り、借り物競争に元気はつらつ。スポーツの秋を満喫しました。



依田窪南部中学校  
ボランティア委員会来所

(8月7日)

夏休中の依田窪南部中学校の生徒30名によるボランティア活動が行われました。窓拭き清掃後、利用者の皆様と、折り紙やかかるた、風船バレーボールの交流を楽しみました。中学生の感想に「利用者の方々と過ごし、共に生きる喜びと協力しあう大切さの良い体験となった」とありました。利用者の皆様も、中学生から若さと生きるエネルギーをいただきました。



★編集後記★

いこいには、毎年たくさんツバメが巣を作ります。8月上旬「いこい」という文字に巣立ちの準備をしてい

る子供たちが、休んでいました。古くからツバメが巣を作ると「縁起が良い」「その家は栄える」と言われています。いこいもその恵にあずかりますように。

(編集委員)

